

業 績 目 録（令和5年）

大学院科目名：神経発生生物学

(A-a) 英文著書
*個人著書の場合
該当なし

(A-b) 和文著書
該当なし

(B-a) 英文総説
該当なし

(B-b) 和文総説
該当なし

(C-a) 英文原著

1. Agata A, Ohtsuka S, Noji R, Gotoh H, Ono K, Nomura T. A Neanderthal/Denisovan GLI3 variant contributes to anatomical variations in mice. *Front Cell Dev Biol* (11) :1247361 (2023) (IF=4.6)
2. Gotoh H, Maruyama K, Yoshii K, Yamauchi N, Nomura T, Ohtsuka S, Shirasaki R, Takebayashi H, Ono K. Disruption of the anterior commissure in Olig2 deficient mice. *Eur J Neurosci*. 57(1):5-16 (2023) (IF=2.7)

(C-b) 和文原著

- 1 後藤仁志、野地亮太 組織染色における固定法と染色溶媒の検討 **Studia humana et naturalia** 57 : 41-50, 2023.

(D) 学会発表等

I) 特別講演、教育講演等

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 野村真. Shh/GLI3 シグナリングの微調整は哺乳類の解剖学的進化の基盤となる. 第46回日本分子生物学会年会シンポジウム「脳発生進化研究の最前線」2023, 神戸
- 2 野村真. 哺乳類の解剖学的特徴の進化に寄与した発生メカニズムの解明 東京都医学総合研究所・医学研セミナー 2023, 東京
- 3 野村真. 発生工学的アプローチによるヒト先天性異常の病態解明. 京都工芸繊維大学応用生物学系主催 第46回KITライフサイエンスセミナー「異分野融合による生体機能の解明から医薬品開発まで」2023, 京都

E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 1940 万円

公的助成

代表（総額）・小計 340 万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（B） 令和3～5年度
多階層的比較解析による興奮性神経細胞の進化起源の解明
助成金額 340 万円

財団等からの助成

代表（総額）・小計 1600 万円

- 1 喫煙科学財団 研究助成 令和5～7年度
胎仔期の神経系細胞の細胞内代謝経路にニコチン類似物質が与える影響と脳形成への影響 助成金額 150 万円
- 2 武田科学振興財団生命科学研究助成 令和3～7年度
哺乳類特異的な皮質間投射回路の進化に寄与した転写制御メカニズムの解明 助成金額 900 万円
- 3 大隅基礎科学振興財団 第6期基礎科学（一般）研究助成 令和5～6年度
化石人類特異的なアミノ酸変化によるヒト表現型進化の再構築
助成金額 450 万円
- 4 小柳財団 2023 年研究助成 令和5年度 発生制御タンパク質の非同義置換が与えるヒトの解剖学的変化と病態解析 助成金額 100 万円